

きずな

第29号

平成24年1月14日

1月の予定

1月14日 まちづくりパワーアップ
 出会いフォーラム活動報告会

1月18日 まちづくり未来塾
 「キムチ作りに挑戦！」

1月22日の第5回子育てフォーラムは
 出演者が体調不慮で入院したため延期と
 させていただきます。



所長
黒川有昌

迎春



平成24年の年頭に当たって。

まちサポも4年目を迎えることが出来ました。町民の皆様、支援団体の方々町役場の皆様や多くの援助くださった方々に深く感謝申し上げます。本年もご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

昨年の東日本大震災により社会生活が大きく変化している様に感じます。まちサポでも5回にわたり被災地石巻市に支援ボランティア活動で訪問してきました。これからも継続して行きたいと考えています。本年は、

(1)「笑顔で挨拶地域の絆、豊かな自然を次世代へ」をテーマにして各種事業を展開します。

未来塾の充実を図る新講座の開設、広報活動の推進

(2) 関係機関団体との連携の強化とその推進を図る。

(3) 協働の人材開発事業を展開する。町の協力を得て継続事業として取り組む。

(4) 市制施行について町と連携を密にしていく。

国では、新しい公共の考えで「まちづくり」「新しい市民活動」に対して助成しています。これから市民活動が大きく前進するものと思います。

これからもまちサポの活動を一步一步進めてまいります。町民の皆様の温かいご理解とご協力をお願い申し上げます。平成24年が皆様にとりましてご多幸でありますようにお祈りいたします。



「市制施行を念頭に
 協働のまちづくりを推進しよう」

監事 武井 實

1本町における「協働のまちづくり」の流れ

(詳細は各期公報参照)

- ・平成15年8月～16年3月：「住民による大網白里まちづくりの会」(提言書)
- ・大網白里町総合計画(平成13年度～22年度)
- ・平成18年7月～20年3月：「住民と行政の協働によるまちづくり推進懇談会」(提言書)
- ・平成20年7月：「協働のまちづくり指針」
- ・平成20年7月～21年3月：住民参加・協働のまちづくり委員会
- ・平成21年4月：協働のまちづくり推進計画(第1～3段階/5戦略・13施策)
- ・平成21年6月～12月：協働のまちづくり講座(6回)
- ・平成22年6月～12月：大網白里町総合計画審議会(第5次総合計画案答申)

2「市民グループ活動の活性化と地域づくり」の推進

以上のように「住民と行政の協働によるまちづくり推進計画」は長期に及ぶ住民と行政の協働により、町の総合計画に組み込まれた。「まちサポ」は、上記活動の中から生み出された大切な宝物、従って、活動目標の第一はまちづくり推進計画の実現。本年は、行政と一体になって「まちサポ活動」として各種フォーラムを立ち上げ、まちづくり推進計画を実践して行きたい。しかし、一口にまちづくりと言っても、まちづくりの概念には多数の要素が交錯しており、安易に取り組みない。そこで、先ず活動拠点の強化が肝要。

①単位グループの内部強化…会員増強、組織力、実践力等の強化。②各グループ間の協働体制の強化…単独活動も重要であるが、2～3の類似、異種グループ間共同活動への馴化(共同作業、支援活動等への協働意識向上)が必要。③諸事業活動におけるまちサポと行政の一体化(協働、支援など)推進。④異業種、地域性、年齢差、などの格差是正及び融合対策の検討など。

笑顔で挨拶地域の絆 豊かな自然を次世代へ

大網白里まちづくりサポートセンター



まちサポ理事 新年の抱負



明けましておめでとうございます。
“まちサポ”民設民営でスタートし4年目を迎えました。まだまだ成長過程ではありますが、人材育成のための講座や町の活性化につながる事業、交流サロンなどをおし着実にその存在価値は高まっています。

今年には特に、昨年の先進事例研修で訪問した「南房総市」「いすみ市」の取り組みを参考に、まち行政と積極的な協働を図り町の目標とする「住みたい・住み続けたいまち」づくりに向け邁進いたします。

賛同頂ける方のご支援とご協力をお願いします。仲間になりませんか？ 後藤正義



大網白里町の市制施行は平成25年1月1日とされ、「市」の都市型イメージから、地域社会と地域経済の活性化、地域コミュニティの再生・「住民自治」を推進する絶好の機会と捉えることができます。また、行政サービスも今以上にきめ細やかになる期待感がある一方、私たちまちづくりサポートセンターも中間支援組織の持てる役割・機能の立場から、行政の協働のまちづくりに参画する機会が、必然的に多くなると考えられます。おりしも、「新しい公共」の考え方に基づく「協働のまちづくり」が改めて浮上しています。この一年は、NPO、ボランティアの皆さんと「新しい公共」について考察していきたいと考えています。

三澤清隆



「その瞬間に何ができるか、どうお役に立つか！」
「今からここから私からそして出来ることから！」と、

目の前に立ちはだかる課題や問題に逃げることなく積み上げてきた昨年、震災は私達に大事なことを教えてくれました。

「違いは大切にし、同じで行動」
「足をひっぱるのでなく手を貸す」、今年も精一杯頑張っていくつもりです。 野老真理子

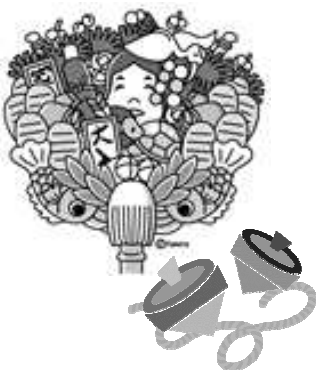


ある地理・歴史学者が今の文明の環境・人口問題として12分類し、そのひとつでも対策に失敗すれば半世紀以内に現代の文明全体が崩壊の危機におちいると警告しています。内容は自然破壊、温暖化など、ごく身近な課題です。

まちづくりの中で、歩くこと、見ること、聞くことを通じ、地域から考え現実的に実行・行動する年にしたいと考えています。 田邊宏雄



昨年は日本が大変な年でした。険しい道のりですが、善き積み重ねで少しでも前に進めますように。私の今年目指すものは、“ゆるるアクティブ”を中心に地域に合った居場所づくりを想像力と創造力。そして集まる皆様の知恵をお借りし、あきらめずコツコツ積み重ねて行きたいと思います。善き御縁で、今年もよろしく申し上げます。 林正清子



まちサポ繁盛!



ありのままに・・・

八角榮子



昨年は、東日本大震災という大変な災害が起こり、今までの生活について色々考えさせられました。今年、やるべきことを後回しにせず、一つ一つ努力していきたいと思えます。どうぞよろしくお願ひ致します。 平野由美子

郷土の歴史 - 6

古山 豊 (郷土史研究会会長)

「元禄の巨大地震と大津波」 (その6)

元禄地震と大正地震

江戸時代から今日までの400年間で、千葉県に最も大きな被害をもたらした地震は、元禄・大正地震 (関東大震災) である。両地震は共に相模トラフ沿いで発生している。慶長地震 (1605年, M 7.9) も同様。しかし、この二つの地震は類似性がある反面、大きな相違点もある。

【類似点】を探すと、地震の規模は元禄が M 7.9 - 8.2, 大正が M 7.9 とされているのでかなり近い。M (マグニチュード) の最大値は 12 で、それ以上は無い。M 12 というのは、震源域が 1000 キロメートルにも広がり、地球がまっ二つに割れるほどの規模であるという。 (『NHK サイエンス ZERO 東日本大震災を解き明かす』 P37)。最大推定震度は共に 7 である。7 以上の震度は無いので、いかに大きな揺れがあったか推察される。

関東で 9 冠と推定されている。共に震源地に近い安房の外房地域である。相模トラフ沿いで大規模の地震があると、房総半島南部は隆起する。そのメカニズムは、フィリピン海プレートが房総半島南端にもぐり込むからである。元禄では 4 ~ 5 冠、大正では 2.4 冠隆起している。そのため、野島と呼ばれていた島は元禄地震後「野島崎」とよばれるようになった。白浜の灯台が建っているところである。

【相違点】 : 元禄地震・津波の発生時間帯は、12月 31 日の子・丑の刻である。つまり真冬の夜中に発生した地震・津波であるため、死者約 6,500 人の内 95% 以上が津波による溺死である。これに対して大正地震は、9月 1 日の 11 時 58 分 44 秒に発生しているので、真夏の昼間である。昼食やその準備時間帯であったため、二次災害の火災により住宅密集地の東京では焼死した人が多かった。千葉県の死者は 1346 人という公式数字が出されているが、死者の 93% が住家倒潰による圧死で、



震源地に近い安房、特に内房一帯に集中した。

元禄同様、大正地震も罹災供養碑 (写真 : 旧丸山町前田「大宮神社」) が建立されているが、その多くが安房にある。

大網白里町の場合、大正地震での揺れは大きかったが、津波も無く、被害は比較的小さい方であった。

被災地支援報告



十二月、予定より少し遅れての到着。集会所にはたくさんの子ども達が集まっていた。ここの仮設には高校生まで入っていて三十三人の子達が待っていて、小学生までの子ども達がいる。折紙に紙でリース作りをしてくれた。始めに折り紙でリース作

石巻でクリスマス会
十二月 4 日、石巻の仮設住宅にお邪魔して、クリスマス会を子ども達と行って来ました。 「クリスマス会をやりたくいけど、どうしたら良いのか」という、お母さんのお話から、クリスマス会をみんなで作って楽しもうと、計画、準備して石巻に向かいました。

もらえるかと思いつく。次はケーキ作りです。みんな上手に出来ました。次にケーキ作りです。みんなサポの関係者にお声を掛けてスポンジケーキを焼いてもらいました。子ども達にこれに生クリームと桜桃・イチゴで飾り付けてステキにデコレーションをしました。準備が出来たので、クリスマス会の始まりです。着ぐるみを着たり、サンタ帽をかぶったり、アコーディオンやハーモニカに合わせて歌を唄ったり、お話し会をして、みんなで作ったケーキを食べました。お話し会をして、みずプレゼント。子どもも大人もみんな楽しんでくれたようです。今年はお正月もクリスマスもみんな楽しんでくれたと思います。今年もクリスマスもみんな楽しんでくれたようです。今年もお正月もクリスマスもみんな楽しんでくれたようです。



ゆるめるアクティブの

考える居場所とは

新年になりメンバーの近況報告、今年の抱負など話しながら、今年の『ゆるめる』はどこから動き出そうか模索しています。

先日、まちサポにお年寄りの居場所を探して尋ねて来られた方がいました。まちサポも、前のフロアーに会議が入っていないければ、みんなの居場所に来れるけど・・・。場所的に良いところだから出来るんじゃないかと、意見がまとまりました。毎日だけでなく、出来ることから。社協でやっている「いきいきサロン」はどうか。月1回だけ開催してみたら、普段も散歩途中の休憩に寄るようになるかも。等と、話に花が咲き、お年寄りの居場所を考えることから、始まりました。

みんな、自分の親なり義理の親を引き取るにも、廻りに話相手のような知り合いがなく、来てみてもすぐに戻りたがる、呼びたくても呼べないという、悩みを抱えています。誰でも気軽にいれるところがあれば、お年寄りでも友達が作れ、大綱に滞在したくなるかなと言う、安易な考えからだったのですが。

とりあえず、今年はまだまちサポに集まるお年寄りの居場所作りから始めて行くことになりました。



花と緑 (1)

オープン・ガーデン (K)

植物を育てるのに必要な土と水、良い花を咲かせるにはまず土作りから。水を適度に与え生き生きした花を咲かせてください。

冬場の水やり

表面が乾いてきたら午前中にたくさんあげてください。

冬場の肥料

固形肥料はさけて液体肥料をすすめます。

入りのあると、まちサポは絶対人を出歩途中に立ち寄り、年々増える会議で来られる方、お茶やコーヒーをいれます。お茶やコーヒーをセルフで飲んで頂けると、気軽に立ち寄れる所として、いろいろな事をみんなで話せるような空間作りをしたいと考えています。そんな事を井戸端話から、この町の事を住民レベルで考えられたら最高です。提供出来ない場に頑張りします。

鵜澤司子

事務局から

『異世代交流子どもフェスタ』に参加しました

12月11日、町子ども会主催の子どもフェスタにまちサポも参加しました。まちサポでは、乗って楽しめるミニ鉄道を運行しました。

乗車賃は20円300人位の方が楽しめました。この売り上げは東日本大震災の義援金にさせていただきます。



この子どもフェスタは今年4回目になります。毎年催し物が増え、今年の来場者数は延べ1000人を越えました。近隣の方々には車の駐車等ご迷惑をおかけしますが、異世代交流の場として大きな役割をしていると実感しています。これからも、このお祭りが続きますように、そしてまちサポも出来る限り協力していきたいと思っています。



12月23日のまちサポ祭りにはたくさんの方にご協力頂きまして、そして遊びに来て頂きましてありがとうございました。